

中山観光・季節のおはなし・旅便り



真っ青な空からほんのり秋めいた薄雲が漂う今日この頃…
これから少しづつ、小さな秋の気配を
あちこちで見つけていく季節となるのですね。

残暑はまだ厳しい日もあると思いますが
夏の余韻にひたりつつ、季節の移ろいを楽しみたいものです。

身体に気を付けて元気に過ごしましょうね





夏の暑さがやわらぎ、徐々にすごしやすくなる9月

日を追うごとに、太陽の日差しが柔らかく、吹く風が心地よく感じられるようになりました。

どこなく夏の余韻が残る中、まるで新たな季節の到来を告げるかのように、朝晩は少しばかりひんやりとした空気が漂い、秋の虫たちがその声を響かせ始めています。

過ぎ行く季節を惜しみ、新しい季節の訪れを感じとる9月はまさに2つの季節が交差する月…

台風シーズンでもありますが下旬になると暑さも落ち着き、お月見やシルバーウィーク、お彼岸と季節を感じさせる行事も多く、次第に秋が深まっていきます。



日本の秋を代表する花といえば、どのような花が思い浮かべるでしょうか…

今から1200年以上も前に編纂された万葉集に、山上憶良が詠んだ「秋の七草」の歌が二首収録されています。
まず一首目は、五七五七七の短歌です。

秋の野に 咲きたる花を 指折り かき数うれば 七種の花
およびおり

「および」は「指」のことで、「秋の野に咲く花を、指折って数えてみれば、七種類の花」という意味の歌です。
続く二首目では、七種類の花が、五七七五七七の旋頭歌の形で歌われます。

萩の花 尾花 葛花 なでしこの花 おみなえし また藤袴 朝顔の花

尾花はススキのこと、朝顔は桔梗のこと。万葉集の時代も現代も、日本人の花好きの心は変わらないようです。

「秋の花を7つあげてください」と言われたら、皆さんは、何の花をあげるでしょうか？

秋の七草





秋の七草の時期は、9月中旬から初秋のころ…
ちょうどお彼岸の時期もあります。

今年の秋分の日は、9月 22 日ですので、秋のお彼岸は
9月19日から9月25日になります。
お月見にも秋の七草は欠かせません。
この時期にはススキや桔梗を飾り、秋の空に昇る月を鑑賞します。



万葉集に綴られた歌が由来となり、始まったとされる秋の七草。

春の七草は、七草粥を食べて無病息災を祈りますが、
秋の七草は、残念ながら食べられません…
月や草花の美しさを鑑賞して楽しんだり、
薬草としても古くから親しまれてきました。



今年の中秋の名月は9月17日



華やかなお花と一緒にお月見を楽しみましょう

十五夜に欠かせないのが、「ススキ」です。ススキは、農業を象徴する稻の代わりで、月の神様の依り代と考えられています。

本来であれば稻を飾りたいところですが、十五夜は収穫期に当たって稻が不足するため、ススキが代用されるようになったといわれています。

ススキの鋭い切り口が魔除けになると考えられていて、お守りとして古来より大切に飾られてきました。

十五夜には月見団子と一緒にススキを飾って、お月見を楽しみましょう。

ススキの花言葉は、「活力」と「生命力」です。十五夜には農業を行っていない人でも、家族の健康や幸せを願って、はススキを飾ってください。

また華やかさがほしいという人は、秋に見頃を迎えるお花と一緒に飾りましょう。

十五夜の飾りとしておすすめなのが、「キキョウ」です。キキョウは秋の七草に数えられるお花で、星型に開くはっきりとしたシルエットの花弁と、深い紫色がなんとも魅力的なお花です。上品で控えめな美しさを持つお花なので、煌々と輝く月から主役の座を奪ってしまうようなことはありません。

ススキと一緒に飾れば、和の雰囲気を壊さずに、さりげなく華やかさをプラスしてくれるので…

キキョウの花言葉は、「永遠の愛」や「変わらぬ愛」、「気品」や「誠実」です。家族や恋人といった大切な人との絆を深めたいと考えている人は、ススキと一緒にキキョウも飾ってお月見を楽しんでください。



9月29日は 招き猫の日



両手を挙げている招き猫は
おてあげ…という意味も…

おかげ横丁では、今年も全国各地から 10,000 点の招き猫が集う
「来る福招き猫まつり」を開催！今年は記念すべき 30 回目のまつりとなる
これまでを感謝し、益々の福到来を祈願して「万歳三唱(招)」で盛り上げ
招き猫たちがバンザイをして、一度ならず二度三度と招いてくれる福を
お持ち帰りいただけます

招き猫に因んだ限定料理やスイーツ、体験教室など、
福がいっぱいの来る福招き猫まつりです。

9月29日は「招き猫の日」というのをご存知ですか？招き猫の愛好家団体である日本招猫倶楽部が制定しました。

日付は、「くる(9)ふ(2)く(9)」(来る福)と読む語呂合わせから来ています。

招き猫の魅力をアピールし、多くの人に福を招いてもらうことが目的です。

記念日は一般社団法人・日本記念日協会により認定・登録されました。

この日を中心に、三重県伊勢市の「おかげ横丁」の「来る福招き猫まつり」など、全国各地で記念行事が開催されています。

招き猫は、前足で人を招く形をした、猫の置物です。

猫は農作物や蚕を食べるネズミを駆除するため、古くは養蚕の縁起物でしたが、養蚕が衰退してからは商売繁盛の縁起物とされてきました。

招き猫には、右手をあげた猫と左手をあげた猫の二種類があります。

「右手」はお金や福を呼び、「左手」は客などの人を招くとされています。

多くの人の利き手である右手でお金を扱うことが多いことから、

右手を挙げている招き猫をお金招きと呼ぶようになったという説もあります。

また、右手挙げと左手挙げを対で置くと、外から内へと福を招くそうで

全国一の生産地である愛知県常滑市の業者によると、

1997年春頃から「右手」の注文が増え始め、従来の「右1:左9」の比率が

「右7:左3」になったそうです。

まれに両手を挙げている招き猫がありますが、

両方の福が欲しいという欲張りな招き猫で縁起が良くないとされることもあります。

また招き猫をよく見ると耳の横に手がある招き猫や、

耳よりもっと高く手が伸びている招き猫など、手の挙げ方もさまざまです…

挙げている手が高ければ高いほど、遠くの福やお客様を招くとされていて、福をより多く招きます。

ベーシックな招き猫は三毛猫！三毛猫は家の魔や災厄を一身に吸い取ってくれると大切にされました。



東京の下町・浅草に鎮座している「今戸神社」は招き猫発祥の地のひとつといわれており、境内の至るところに招き猫が点在しています。縁結びや恋愛成就、夫婦円満などにご利益があるとされ、良縁を祈願する女性やご夫婦で賑わう神社には、招き猫をモチーフにしたお守りや絵馬、おみくじなど、すてきな授与品がたくさんそろっています。

中山観光 親睦旅行 「との会」第1班 2024.8.22

秋シーズンが始まる前に従業員の親睦旅行！

日々の運行もあるので2班に分かれてのお出かけでした。

今年は屋形船と豊洲にある千客万来へ…

屋形船は「あみ達」さんにお世話になりました。

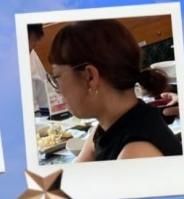
車内でも屋形船の中でもカラオケで盛り上がり

揚げたての天ぷらを食べながら、飲んで歌って2時間30分コースの屋形船を

満喫！隅田川～東京湾の景色も楽しめました。

千客万来ではショッピングやグルメ・足湯に浸かって至福の時間を過ごした人も…

親睦をさらに深め、これから始まる秋のシーズンも頑張ります！



中山観光 親睦旅行「との会」第2班 2024年8月28日

後半組(2班)の様子です。

屋形船は「かみや」さんにお世話になり、羽田沖から京浜島・お台場コースを巡りました。

台風10号の影響で出発前日まで心配でしたが

当日は天気に恵まれ、波も穏やかで船の揺れもなく、潮風が気持ち良かったです。

帰りは1班同様、豊洲にopenした「千客万来」に立ち寄り

ショッピングや足湯を楽しみ、充実した時間を過ごすことができました。

これから迎える秋のシーズンも一人ひとりがお客様を笑顔でお迎えし
安心・安全・快適な旅を提供いたします。

